

JFMA「経営問題としての省エネ・節電セミナー」講師・講演概要紹介

第一部 14:00～16:05

1	講演時間	14:05～14:35
	講師氏名・ 勤務先名・役職	大熊 奈津子氏 経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 省エネルギー対策課 課長
	タイトル	「環境視点を取り入れた経営改善手法とエネルギー関連予算等について」
	講演概要	環境対策には省エネルギー対策をはじめとした多くの対策があります。それらの対策は環境改善効果に加えてコストカットや組織力向上といった効果があり、さらには戦略やビジネスモデルに組み込むことでより大きな経営改善効果が期待できます。そこで当局ではこれまでの省エネ等の取り組み事例を経営の視点から見直し、テクニック集および事例集にとりまとめました。この本の内容に触れつつ省エネルギー対策関連の支援施策をご紹介します。

2	講演時間	14:35～15:05
	講師氏名・ 勤務先名・役職	武田 正浩氏 森ビル(株) 環境推進室 参事
	タイトル	テナントビルの見える化によるスマート節電・省エネへの取り組み
	講演概要	東日本大震災からもう2年が経過しました。この間ビル業界を取り巻く環境も大きく変化し、テナントニーズはBCPや環境対応に対する関心が益々高くなってきています。森ビルでは節電・省エネ対策としてテナント向けエネルギーの見える化サービスを提供してきました。これまでの運用により見えてきた見える化の課題と今後の展開について説明いたします。

3	講演時間	15:05～15:35
	講師氏名・ 勤務先名・役職	那須 由理氏 富士フィルムホールディングス(株) 総務部 担当マネージャー
	タイトル	「従業員・家族・そして協力会社との共同に基づく省エネ活動」
	講演概要	H22年生産コストの増加見込みを受けて開始した動燃費削減活動。しかし、H23年3月11日の東日本大震災以降、その活動は従業員だけでなく、入居ビルの設備担当、ビル管理会社、そして従業員の家庭を巻き込んだ省エネ活動へと展開を拡大していきました。私たち富士フィルムグループの取り組みと、その中で経験した失敗、協力会社との協働で得られたもの、そして「長く続けること」を目的として試行錯誤を続けている状況をご紹介します。

4	講演時間	15:35～16:05
	講師氏名・ 勤務先名・役職	鈴木 裕章氏 イオン(株) グループ環境・社会貢献部 環境&マネジメントグループ マネージャー 小林 雅弘氏 イオンディライト(株) 環境ソリューション部 部長
	タイトル	「イオンが本気で取り組む、イオンのECOプロジェクト～へらそう、まもろう、つくろう作戦」
	講演概要	2020年度に向けた「イオンのecoプロジェクト」。 ・へらそう作戦（現在のエネルギー量を50%オフ） ・つくろう作戦（再生可能エネルギー創出20万KW） ・まもろう作戦（BCP拠点100か所） で、イオングループの総合力を最大限に活用し、持続可能な社会をめざします。

第二部 16:20~18:25

5 講演時間	16:20~16:50
講師氏名・ 勤務先名・役職	河西 敏氏 板橋区 資源環境部 環境戦略担当課 環境都市推進担当係 係長
タイトル	「板橋区的环境経営支援事業について」
講演概要	板橋区は、製造品出荷額等が23区中第1位、事業所数が第6位です。事業所の規模は、9人以下の事業所が80%を占め、事業所を取り巻く状況は、資源価格の高騰や電気料金の値上げ等による厳しい状況が続いています。そこで、事業所が健全な経営状況の維持につながるよう、環境の視点に立った経営改善を行うための支援事業を実施いたします。

6 講演時間	16:50~17:20
講師氏名・ 勤務先名・役職	斉藤 金弥氏 キャノンマーケティングジャパン(株)総合企画本部 OES 事業準備室 主管 大林ファシリティーズ(株)キャノンSタワービル管理所長
タイトル	「キャノンSタワーの省エネ～ビルオーナーと管理会社のタッグによる大きな成果」
講演概要	「乾いた雑巾を絞っても何も出てこない」といわれていた省エネビル。「事实はどうなっているのだろうか？」という疑問から始まった、ビルオーナーとビル管理会社のタッグによる省エネ。運用改善による省エネにアタックし、大きな成果を残した5年間の活動のエキスを お伝え致します。

7 講演時間	17:20~17:50
講師氏名・ 勤務先名・役職	大野 晃敬氏 第一生命保険(株)総務部 部長
タイトル	「節電対策から見えてきた課題と省エネを含めた現在の当社の取組」
講演概要	政府要請と監督官庁行政の下に実施した節電対応が2年目を終えようとしています。皆様にも初年度実施した節電対策を継続する中で、多くの気づきがあったと思います。今まさに、その気づきをどのように前向きに展開するか、知恵を絞るステージに入っていると認識しています。節電をきっかけとする省エネ取組の現在までの取組状況と、FM的見地からの運用態勢・ガバナンスに関する工夫について、当社が現在取り組んでいる内容についてご説明いたします。

8 講演時間	17:50~18:20
講師氏名・ 勤務先名・役職	堂地 博氏 (株)NTTファシリティーズ スマートビジネス部 スマートビジネス部門 担当部長
タイトル	「Reverse Energy Saving」
講演概要	東日本大震災を契機とした、電力需要の逼迫によりエネルギーマネジメントが注目を浴びている。エネルギーマネジメントを円滑に実施するには、見える化に加え、需要家の節電行動を促し、機器を自動制御ですること、見える化の情報を実際の節電に結びつける方が重要となる。本講演では、NTTファシリティーズが実施している、節電行動を促進するサービスの紹介や、エネルギーマネジメントを支える技術について述べる。

